

# 平成29年度第1回茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会会議録

議題	<p>(議題)</p> <p>議題1 平成29年度高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会のスケジュールについて(報告)(資料1)</p> <p>議題2 第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基本方針及び課題について(意見聴取)(資料2-1、2-2)</p> <p>議題3 (仮称)茅ヶ崎市営小和田住宅外複合施設について(報告)(資料3-1、3-2)</p> <p>議題4 平成29年度茅ヶ崎市指定地域密着型サービス事業者募集の結果及び開設に係る事前協議について(看護小規模多機能型居宅介護)(意見聴取)(資料4)</p> <p>議題5 茅ヶ崎市介護予防・日常生活支援総合事業事業所の指定及び指定地域密着型サービス事業所の指定の更新について(意見聴取)(資料5-1、5-2)</p> <p>議題6 平成29年度地域包括支援センター事業計画及び予算並びに平成28年度地域包括支援センターの公正中立について(報告)(資料6-1、6-2)</p> <p>議題7 避難行動要支援者支援計画の策定及び今後の動きについて(報告)(資料7)</p> <p>議題8 地域包括支援センターの担当地区の検討について(意見聴取)(資料8)</p> <p>議題9 その他</p>
日時	平成29年5月30日(火) 14時～16時
場所	本庁舎5階 研修室
出席者氏名	<p>加納 洋子      木村 辰郎      篠原 徳守      鈴木 健司</p> <p>坂井 修一      大崎 逸朗      柏崎 周一      中戸川 正</p> <p>福岡 祐子      米山 康之      水島 修一</p> <p>事務局：福祉部長 高齢福祉介護課長          介護保険担当課長 高齢福祉介護課職員          株式会社サーベイリサーチセンター</p>

欠席者氏名	三上 秀明 西 耕一 寺田 洋
会議の公開・非公開	公開
傍聴者数	1人

(会議の概要)

**議題 1** 平成29年度高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会のスケジュールについて(報告)(資料1)

説明【高齢福祉介護課：三澤担当主査】

**委員長** 説明は以上となるが、質問、意見はあるか。

(質疑等は特になし。)

**委員長** 他に質問がなければ、次の議題に進みたい。

**議題 2** 第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の基本方針及び課題について(意見聴取)(資料2-1、2-2)

説明【株式会社サーベイリサーチセンター：石塚様】

**委員長** 説明は以上となるが、質問、意見はあるか。

**委員長** 在宅介護及び新たな医療介護の推進については、これまでの計画ではどのように進められていたか。

**事務局** これまでは第6期計画の基本方針4の中の施策の方向性1に位置付けていた。具体的な事業としては、在宅医療介護連携推進事業、地域医療福祉連携懇談会、在宅医療情報共有システム事業、在宅医療連携拠点整備事業である。第7期計画ではより具体的な取り組みになることが想定される。

**委員長** 在宅医療介護連携の体制が現在整っていないということか。第7期計画ではスピード感をもって取り組むのか。

**事務局** 在宅医療介護連携は、人材育成及び仕組みづくりの2つの観点から事業を推進している。平成28年度までは、病院、医師会、地域包括支援センター等の代表者会議や、情報共有部会等の部会を通して検討しているところである。また、かかりつけ医の推進や医療計画との整合性も見据えた上で項目を特出しした。

**米山委員** 介護事業所でも人材確保が課題となっている。人材確保に向けた市の取り組み等はあるか。

**事務局** 今後、実情や困りごとなどを把握する上で、アンケートにご回答いただいた事業者へ、ヒアリング等させていただきながら、市としてできること、市がやるべきことを洗い出した上で、案等を提案し、ご意見いただければと考えている。

**米山委員** 第6期計画中に特別養護老人ホームや介護老人保健施設が整備されることとなっているが、各施設においても職員の確保が間に合っていないのが現状である。施設待機者数も実情としては少ないという事を念頭に入れていただきたい。

**副委員長** データの整理の仕方について、地域性について触れていない。地域性についてはどのように考えているか。また、健康面で健康診断について取り上げているが、他の項目では年齢等をふまえ詳細まで分析している。なぜ健康面については詳細となっていないのか。特徴的ではないため、特出ししていないと解釈してよいか。

**事務局** 本計画は65歳以上の高齢者を対象としており、定期的に健康診断に通っている方もいる中で、年齢等を特出しして調査することが困難と考え、現在の表記となっている。

**副委員長** 核家族化や単身世帯、高齢者のみ世帯が増えている中で、年齢を重ねるにつれて健康診断等を受診する傾向が減少していくのでは等、何か特徴が掴めるのではと感じた。

**事務局** 単身世帯及び高齢者のみ世帯が増えている現状もあるため、検討する。

**柏崎委員** 次期計画について検討するのであれば、アンケート調査の結果をふまえた上で課題を洗い出し、検討していただきたい。

**事務局** 課題を分析した中で、今後の取り組みについて検討し追加していく。

**委員長** 他に質問がなければ、次の議題に進みたい。

**議題3** (仮称)茅ヶ崎市営小和田住宅外複合施設について(報告)(資料3-1、3-2)  
説明【高齢福祉介護課：白井課長補佐】

委員長 説明は以上となるが、質問、意見はあるか。

木村委員 いつから計画していたのか。建物の耐用年限や有害物質の調査等はどのような結果であったか。

事務局 建設計画は平成22年からであり、所管課は建築課である。有害物質の測定結果や実施時期等の詳細については、所管課でないため把握していない。

委員長 他に質問がなければ、次の議題に進みたい。

議題4 平成29年度茅ヶ崎市指定地域密着型サービス事業者募集の結果及び開設に係る事前協議について（看護小規模多機能型居宅介護）（意見聴取）（資料4）

説明【高齢福祉介護課：松尾担当主査】

委員長 説明は以上となるが、質問、意見はあるか。

木村委員 密着型サービスの応募が少ない理由はなぜか。応募が少ないことでサービスの質が低下してしまうのではないか。

事務局 介護人材の不足も問題の一つである。第7期については、事業者が応募しやすくできるよう検討する。

委員長 介護の現場で働く方々が、長く働き続けることができるように、行政的な支援を今後とも充実させていただきたい。

委員長 他に質問がなければ、次の議題に進みたい。

議題5 茅ヶ崎市介護予防・日常生活支援総合事業事業所の指定及び指定地域密着型サービス事業所の指定の更新について（意見聴取）（資料5-1、5-2）

説明【高齢福祉介護課：松尾担当主査】

委員長 説明は以上となるが、質問、意見はあるか。

（質疑等は特になし。）

委員長 他に質問がなければ、次の議題に進みたい。

**議題 6** 平成 29 年度地域包括支援センター事業計画及び予算並びに平成 28 年度地域包括支援センターの公正中立について（報告）（資料 6-1、6-2）

**説明【高齢福祉介護課：吉武課長補佐】**

**委員長** 説明は以上となるが、質問、意見はあるか。

（質疑等は特になし。）

**委員長** 他に質問がなければ、次の議題に進みたい。

**議題 7** 避難行動要支援者支援計画の策定及び今後の動きについて（報告）（資料 7）

**説明【高齢福祉介護課：都筑主任】**

**委員長** 説明は以上となるが、質問、意見はあるか。

**委員長** 資料 7 の 19 ページにリヤカー等を使った図があるが、現在でもこのような訓練があるのか。

**事務局** 実際にリヤカーを使った訓練を実施している地域はあると聞いている。

**委員長** 他に質問がなければ、次の議題に進みたい。

**議題 8** 地域包括支援センターの担当地区の検討について（意見聴取）（資料 8）  
**説明【高齢福祉介護課：白井課長補佐】**

**委員長** 説明は以上となるが、質問、意見はあるか。

**篠原委員** 茅ヶ崎南地区の誕生に伴い、今年 4 月から A 案の体制で運営されているが、民生委員の中でも、なぜこの体制なのか疑問を持っている方が多くいる。今のままだと、地区をまとめることが難しいと感じている方が多いため、より良い方法を市で検討していただきたい。

**委員長** 各地区の高齢者人口の将来推計は行っているのか。

**事務局** 平成 33 年度までは試算しているが、茅ヶ崎市の 65 歳以上の高齢者人口は市全体で現在より約 4,000 人増加する見込みである。地区別の高齢者人口の見込みは、現時点では市全体での伸び率を乗じて推計しているが、実際には地区ごとに状況が異なるため、今後、精緻化を進めたいと考

えている。

**坂井委員** 以前、松浪地区と浜須賀地区は一つの地区であり、地区内の関係性は薄かったが、地区が分かれたことにより、関係性が良くなった実情がある。

**副委員長** 資料8のC案にした場合、一方の地域包括支援センターの負担が大きくなってしまう。仮にC案となった場合、受託事業者への予算措置はあるのか。

**事務局** 現在、地域包括支援センターが担当する地区の高齢者人口が6,000人以上の場合、委託料の算定において超過分に応じた人件費を加算している。

**副委員長** C案の場合、人件費の加算以外の支援等は考えられないか。

**事務局** 人件費のほか事務費についても増額することが考えられる。また、茅ヶ崎市全体として設置すべき地域包括支援センターの数については、財政上の負担も考慮し12か所としてきた経緯がある。

**福岡委員** 6,000人を担当する時点で現状厳しい。ケアプランの作成についてはできる限り外部委託を抑えるよう対応しているが、C案になると委託率は上がることが想定される。人件費がどの程度増額されるのか、一方の地域包括支援センターの担当する利用者が増えた際の影響がどの程度か等不安要素は多い。

**篠原委員** 当初高砂コミュニティセンターは地域包括支援センターを施設内に入れるために、4階建ての予定であったが、予算の関係で3階建てとなった。地域包括支援センターとボランティアセンターが同一建物内にあることで、連携しながらより良い活動が望めたが、今となっては高砂コミュニティセンターの年間利用者数は6万人を超えており、併設は難しい。

**委員長** 財政負担の課題はあると思うが、地域のコミュニティを大切にし、アンバランスな体制を構築せずに、全体を見ながら市で検討していただきたい。

**委員長** 他に質問がなければ、次の議題に進みたい。

## 議題9 その他

説明【高齢福祉介護課：吉武課長補佐、松尾担当主査、三澤担当主査】

① 平成28年度第6回推進委員会の議題4における質問への回答について

- ② 在宅ケア相談窓口の設置について
- ③ 第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画報告書の送付について
- ④ 次回の委員会開催について（7月下旬）

**委員長** 他に質問がなければ、閉会とする。

委員長署名                     大崎 逸朗                    

委員署名                     中戸川 正